

みんなの要求みんなで実現！ 広げよう共同の輪！

# 大阪春闘共闘ニューズ

No.1 2010年11月29日

〒530-0034

大阪市北区錦町2-2

大阪労連気付

TEL (06) 6353-6421

## 「2011年大阪春闘共闘委員会」を結成

11月17日（水）、2011年大阪春闘共闘委員会の結成総会が国会会館で開催され、11団体・16人が参加しました。

川辺大阪労連議長の挨拶の後、宮武大阪労連事務局長は春闘構想の報告と提案で、「大企業が業績をV字回復させる一方で、解雇、賃金・一時金カットや退職強要、下請け中小企業への一方的単価切り下げや発注打ち切りなど、経済危機の矛盾が労働者・中小企業に押し付けられている。菅民主党内閣は国民の期待に背き、財界主導の「構造改革」路線への回帰を強めている。2011年春闘は、日本経済の「歪み」、貧困の深刻化、労働者の暮らし悪化、中小企業と地域経済などを疲弊させたその責任と原因を国民的に明らかにし、その是正のための施策を政府と大企業に求める共同運動を進めよう。当面、1月19日（水）に大企業の社会的責任を追及する労働者総行動を。」と提起しました。

続く討論では、大阪市内だけでなく、府下全域で、できることを展開しよう、など、提案を補強しながら、最後に、2011年大阪春闘共闘委員会の体制を確認しました。

〔代表委員〕川辺 和宏（大阪労連）、\_\_\_\_\_（関西MIC）、\_\_\_\_\_（みどうすじ実行委）※今後選出

〔事務局長〕宮武 正次（大阪労連）

## 「2011春闘討論集会」を開催

11月20日（土）～21日（日）にかけて、和歌山県・新和歌の浦「萬波」を会場に、2011年国民春闘討論集会を20単産8地区協・80人の参加で開催しました。

川辺代表委員（大阪労連議長）の挨拶で開会。筒井晴彦氏（「働



くルールの国際比較」著者・労働総研会員、左写真）を講師に、「求められる働くルール・ディーセントワークの実現めざして」と題した学習会では、大企業が膨大な内部留保をため続ける一方で、日本の労働者がいっそう劣悪な環境に追いやられていること、それを打開していくたたかいこそ、ディーセントワークを確立していく運動であることなどを学びました。



宮武事務局長（大阪労連事務局長）からの春闘構想の提案、続事務局長（大阪労連副議長）からピクトリーマップと分析結果の説明、長岡常任幹事（大阪労連幹事）から自治体非正規実態アンケート・公契約調査等の結果について報告を受け、5つの分科会に分かれて討論を深めました。



2011年春闘は、大企業中心の社会・経済の転換めざす運動と結合させ、「雇用と賃上げで内需拡大」の世論づくりと、地域経済活性化をはかるたたかいとして、すべての労働者の賃金引き上げと雇用の安定などを追求しながら展開していきます。この秋季年末闘争でのたたかいと前進を力に、より大きなたたかいに広げましょう。